



＼イザという時に知っておきたい！／

矯正装置のトラブル豆知識

ワイヤー&ブラケット編

矯正装置は、何らかの理由で外れてしまうことがあります。また外れたことで、口の中が傷ついたり、痛みが出る場合もあります。矯正装置が外れてしまったら、必ず当院にご連絡いただくことは大前提ですが、特に今年は連休が多く、「こんな日に限って…（涙）」とならないために、ご家庭で知っておきたい豆知識をご紹介します。

1

「矯正装置は、どんな時に外れやすいの？」

実は、「**装置を入れた直後**」が最も外れやすいのです



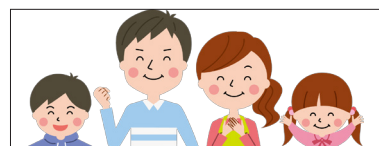
ご本人が装置をつけた生活に慣れない時期は、外れることがよくあります。好奇心の強いお子さんがご自分の手や舌で装置をいじることで、外れてしまうこともよくあるケースとしては、以下の4つです。

- ①装着に慣れない食事中、歯（特に下の歯）から接着したブラケットが外れてしまう。
- ②装置の着け始めが最も歯の位置が凸凹なため、負荷がかかりやすくブラケットが外れてしまう。
- ③最初に入れるワイヤーが非常に細いため、ブラケット（奥歯のチューブ）から外れる。
- ④右噛み・左噛みなどいつも同じ側で食べることで、ワイヤーがズレて歯茎に当たる。

2

「万が一外れてしまった場合は？」

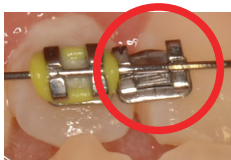
ご家庭にある道具を使った応急処置があります



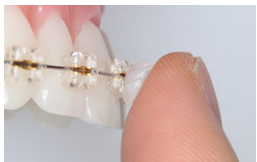
【ブラケットが外れた場合】

■道具■

- ①（医院から処方される）ワックス
- ②爪楊枝



ブラケットが外れて、ワイヤーの上でプラプラと動く状態になってしまったら、外れたブラケットをカバーするように、ワックスでワイヤーに固定しましょう。



ブラケットを外してしまいたい場合は、爪楊枝などを使ってブラケット周りのゴムを除去し、外します。



取出したブラケットはジップロックなどに清潔にして保管し、診察時にお持ちください。

【ワイヤーが外れて痛い場合】

■道具■

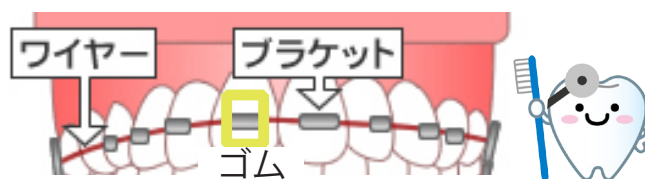
- ①爪きり、ニッパーなどカットできるもの
- ②（医院から処方される）ワックス ③ピンセット

まずは、ピンセットで元の位置に戻せるか試してみましょう。戻せない場合は、以下の方法でカットします。



（清潔な）爪切りやニッパーでワイヤーをカットします。カットした先端は、必要に応じてワックスで固定しましょう。ご本人は寝た状態になり、ご家族などに切ってもらいましょう。

覚えておくと便利な用語



痛みがなく食事もできるようであれば慌てなくても大丈夫。痛みがある場合は、ご家庭でも痛みの原因を観察し、慌てずにこのような応急処置ができたらいいですね。そして、診察は必ず受けましょう。